



2017年7月9日 御報恩御講の様子

慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山と仰ぎ、日蓮大聖人様の763年に及ぶ正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日蓮上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊を信受し、破邪顕正の折伏精神を根本として布教活動をさせていただいております。

① 講中の皆様へ

日蓮大聖人は『一生成仏抄』という御書の中で、信心のあり方について二つの大事を仰せです。①朝夕の勤行・唱題に努め、②御本尊(三宝)に対し清らかな真心をもって華・香・水をお供え申し上げることです。華とはお櫛。香とはお線香または抹香。そして清らかなお水です。これらのお給仕の普段の積み重ね、不断の修行の中にこそ、私たちの成仏に欠かすことのできない大切な功德の累積があるのです。御報恩謝徳の志からの勤行・唱題の響き、またお給仕の姿勢こそが信心の尊さを表します。

② 創価学会の皆様へ

本門戒壇の大御本尊への参詣を拒否しながら、家庭の御本尊(ニセ本尊ではない正当なる御本尊)だけを拜んでも功德などありません。法華経の寿量品には、仏への恋慕心と渴仰心が功德の源泉であると説きます。現時において日蓮大聖人は、人法一箇の大御本尊として大石寺奉安堂におわしますのです。第26世の日寛上人は『志あらん人は登山して拝したまえ』と仰せです。かつての小樽問答で学会は、身延日蓮宗に対し『本門戒壇の大御本尊様のおわす富士大石寺こそ本当の霊山浄土でなくて、どこに霊山浄土があらましようか』と破折したことを知って下さい。

③ 正しい宗教に関心のある皆様へ

宗教の正邪・勝劣を判断するためには、少なくともその宗旨が何を本尊とし、何を信仰の対称とし、そして生活規範となる思想や信条など、崇高なる理念で裏打ちされているかを知る必要があります。法華経には十界の生命論と、成仏という絶対なる幸福の原理が説かれます。要は生きとし生ける全てが、根本的に救われる道理と法門が説き明かされていなければ正しい宗教とはいえないのです。あなたの人生にとって一切の基盤となる最も勝れた本尊と教義、修行の正しさを教える信仰がここにあることを知って下さい。お待ちしております。

第6号

法遍寺 から大切な 皆様へ

2017年8月1日

日蓮正宗 年間方針
折伏育成の年

法遍寺・天晴寺支部年間方針

青年部育成
全員で折伏
年間実践テーマ

① 勤行・唱題で折伏完遂

罪障消滅

② 御講参詣で人材育成

幸福境涯

③ 講中みんなで支部総登山

福德倍増

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)